

事業紹介

繊維ものづくりの技術支援

【キーワード】 地域産業、繊維産業、織物、支援事業

【遠州地域の繊維産業と浜松工業技術支援センター】

静岡県西部の遠州地域は、江戸中期から高品質な綿織物の全国有数の産地です。当センターでは、保有する遠州の織物サンプルデータベースを活用した産業支援や、各種機器を活用した織物の組織分解や柄・配色のシミュレーション（図1）などの技術支援を行っています。また、地域の繊維関連企業と産地の活性化を目指す一般社団法人静岡県繊維協会（以下、協会）と連携し、遠州地域が繊維産地であることを地域の人々に知ってもらうための各種事業に協力しています。

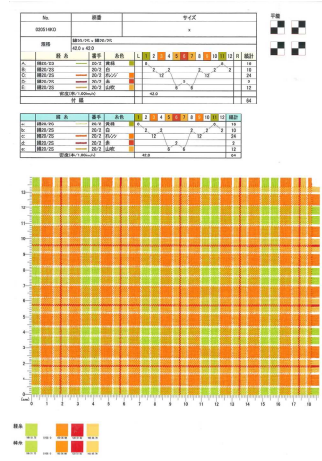


図1 織物、配色のシミュレーションの例

【綿の産地フェア】

国内外で高く評価されている“遠州織物”を生み出す県西部地域の繊維関連事業者が一堂に会し「綿の産地フェア」を毎年開催しています。今年度15回目を迎える本フェア（8月28日開催）は、普段は「見られない!」「聞けない!」繊維に関するいろいろなことを知ることができます。当センターも、手機（てばた）や製紐機（せいちゅうき）によるものづくり体験で協力しています（図2）。



図2 綿の産地フェア
手機体験(写真は第11回)

また、会場となる浜松総合産業展示館（浜松市東区）の北館2階にある「遠州織物 Co-Lab.」（図3）では、当センターが今まで行ってきた支援の成果や、遠州織物の歴史、昔使われていた繊維関連の機械を常設展示しています。ここには、フリーのワークスペースも設けられており、協会のホームページ（<https://senikyokai-shizuoka.com/>）から予約することで、どなたでも工業用ミシンや大きな裁断台等が使用できます。当センターは、今後も地域の繊維関連企業や協会と協力し、“遠州織物”の魅力を広めていきます。

* 感染状況によりイベントが中止になる場合があります。主催者からの情報をご確認ください。



図3 「遠州織物 Co-Lab.」の展示とワークスペース

お問い合わせ先 浜松工業技術支援センター
繊維高分子材料科
電話 053-428-4154